

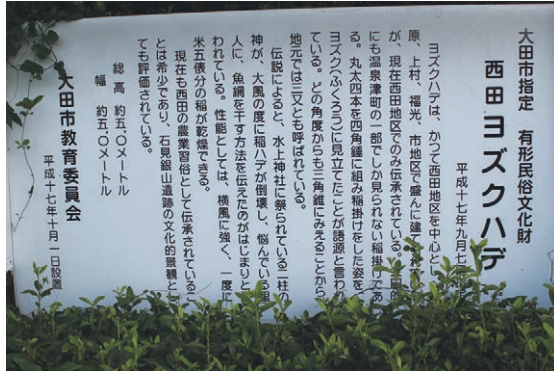
# 島根 更生保護

NO.223

(令和6年10月1日発行)  
島根県保護司会連合会

〈島根更生保護データ〉

保護司総数	502人
保護観察事件	103件
生活環境の調整事件	158件
(6.9.1現在)	



「西田ヨズクハダ」  
(大田地区保護司会  
岡田三史 提供)

## ご挨拶



松江地方検察庁検事正  
山中 一 弘

本年5月に松江地方検察庁検事正に就任しました山中と申します。どうぞよろしくお願いたします。

私は、山陰地方での勤務は今回が初めてであり、山陰地方での生活を楽しみに着任いたしました。こちらに来てすぐに出雲大社へ出掛けて参拝し、また、松江城、足立美術館、津和野、倉吉の白壁土蔵群、鳥取砂丘等の観光地へ出掛けるなど、山陰地方での生活を楽んでいるところです。

さて、島根県は、全国的に見て犯罪の少ない県であり、それは穏やかで真面目な県民性によるところが大きいと思いますが、昨今の全国の犯罪情勢を見ますと、犯罪の態様は、組織化、匿名化、広域化、国際化が進み、また、ITのような新しい技術を犯罪に悪用するという事件も発生しているように、複雑かつ多様化するなど憂慮すべき状況にあります。

更生保護の目的は、犯罪や非行を行った人に対して、社会内で適切な処遇を行い、改善更生を助け、再犯や再度の非行を防ぐことによって犯罪・非行を未然に防止することにあります。再犯や再非行の防止のためには、行政のみならず地域社会のご理解とご協力が不可欠であります。

しかし、最近の犯罪情勢や地域社会の連帯感も希薄化していると言われていた昨今の事情を考えると、更生保護活動を取り巻く状況は厳しいものとなっており、更生保護に携わる皆様方への期待はますます増大するものと思われま

当庁は、平成27年10月頃から人口支援に取り組むようになり、平成30年1月には、再犯防止・社会復帰支援、児童虐待、被害者保護・支援の3業務を行う刑事政策推進班を設置し、関係各機関と連携しながら犯罪を行った人の再犯防止・社会復帰に努めて参りました。

当庁としましては、今後も関係各機関と連携しながら再犯防止・社会復帰に積極的に取り組んでいく所存でございますので、どうぞよろしくお願いたします。

今回で第74回を迎えた  
**“社会を明るくする運動”**  
 県内各地で地域に根差した活動が展開されました!

県内各地で地域に根差した活動が展開されています。  
 今年度も、通年で、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮した中で広報活動に取り組んでいただいています。

**島根県推進委員会**



広報活動(JR松江駅)



広報活動  
 (松江保護観察所庁舎内  
 デジタルサイネージ)



“社会を明るくする運動”  
 島根県推進委員会



広報活動(TSKのテレビ塔の  
 イエローライトアップ)

**松江地区**



広報活動  
 (街頭啓発活動)



**安来地区**



第74回“社会を明るくする運動”  
 安来市推進大会



広報活動  
 (刑務所作業製品即売会同時開催)



広報活動(推進大会講演会)

# 雲南地区



広報活動  
(中学校での出前授業)



広報活動  
(啓発講演会)



広報活動  
(街頭キャンペーン)  
総理大臣メッセージ  
伝達式

# 出雲地区



# 大田地区



広報活動(幟旗の掲揚)



総理大臣メッセージの伝達(大田  
地区保護司会竹村会長から大田  
市長へ)

# 邑智地区



総理大臣メッセージの伝達  
(邑智地区保護司会石田副会  
長から川本町長へ)



総理大臣メッセージの伝達  
(寺本邑南分区長のあいさつ)



広報活動(美郷町内公民館)

# 浜田地区



いきいき子供神楽(ゆめタウン浜田)



広報活動  
(アニメ上映会:みどりかいかん)



広報活動(おはようキャンペーン)  
(桜江中学校)

# 益田地区



“社会を明るくする運動”推進大会

# 隠岐地区



総理大臣メッセージの伝達  
(隠岐地区保護司会赤沼会  
長から隠岐の島町長へ)



警察署・少年補導セ  
ンター等への協力  
(夜間パトロール)



広報活動  
(小学校での  
出前授業)

### 保護観察所からのお知らせ

## 松江市健康福祉フェスティバル

6月末の日曜日に開催された「松江市健康福祉フェスティバル」に松江市健康福祉部・松江保護観察所・松江地区保護司会が共同で「社明広報ブース」を出展しました。更生保護のキャラクター「ホゴちゃん・サラちゃん」のプラバンキーホルダー作りコーナーは親子連れに大人気で、世界で一つだけの自分の作品の完成を「待つ」子供たちの姿はとても微笑ましく、作品を手にした子供も、保護者も明るい笑顔が輝いていました。

また、ブース内には地域援助の一環として保護観察官による「更生保護に関する何でも相談コーナー」を設けて、地域の皆様からの疑問や質問に対応しました。今後は9月28日（土）にくにびきメッセで開催の矯正展、12月1日に安来アルテピアで開催の島根県人権フェスティバルでも広報を予定しています。



## 中国地方BBS研修会



6月22日、23日に出雲市においてBBS会（Big Brothers and Sisters Movement）の中国地方研修会が開催されました。

コロナ禍を経て5年ぶりに中国地方の会員約50名が集い、初日には松江少年鑑別所の統括専門官から「最近の少年の特徴とその鑑別・支援について」、サン・レイク職員から「より良い人間関係を作るためのアイスブレイク」の方法を学び、夜には交流会で親交深め、2日目は「今後、BBS活動をどのように盛り上げていくか」を共通テーマに、9グループに分かれて、熱心に意見交換会を行いました。元気いっぱいの学生や、ベテランの社会人会員が寝食を共に過ごした研修会で得たものは、今後のBBS活動のエネルギー源になることでしょう。

## 安来更女のほっこり食堂

安来市で安来更生保護女性会が主催の「大人も子どももほっこり食堂」が開催されました。メニューはから揚げ付きの夏野菜カレー！かき氷や紙芝居フルート演奏等のお楽しみ付きでした。保護司会や地元企業様の御協力もあり、参加者は100人を超えました。次回は12月に開催予定だそうです。



### 更生保護制度施行75周年記念 第25回島根県更生保護大会のご案内

**とき** 令和6年11月14日（木）  
午前10時から開会

**ところ** 三刀屋町文化体育館「アスパル」  
（雲南市三刀屋町古城1-1）

**参加者** 保護司、更生保護法人役職員、更生保護女性会員、BBS会員、協力雇用主、保護観察協会会員、就労支援事業者機構会員等 約500名（来賓、更生保護関係機関・団体代表者等の参列者を含む）

僭越ながら、  
本の紹介です。



大田地区 木村 昌晴

今年の3月末で、残念ながら大田市には書店が無くなってしまいました。書店で興味がある本を見付け、今買っておかないと次の出会いがないような気がして集めているうちに汗牛充棟とまではいかないまでも、蔵書が増えてしまいました。本との出会いにも不思議な縁を感じますし、自分の無知に気付くのも読書の効用です。

本日は私の手元にある3冊のご紹介です。ご存知の方はご容赦ください。本のカバーと帯を転記します。( )内は私の感想です。

1. 村尾康弘著 新潮新書

『家裁調査官は見た 家族のしがらみ』

帯：人生最凶の人は肉親だった 家族問題のプロが明かす最前線 妄想、暴力、憎悪、支配、母子

密着、薬物…(家庭裁判所には非行少年の調査や、保護観察に相当する業務を担当する専門家が居られること、その職務内容を初めて知りました)

2. 宮口幸治著 新潮新書

『ケーキの切れない非行少年たち』

帯：「すべてがゆがんで見えている」子どもたちの驚くべき実像…(非行や犯罪に至る前に、子どもたちが抱えている問題に気付いて、大人がすべきことがあると改めて思いました)

3. 猪熊律子著 角川新書

『塀の中のおばあさん 女性刑務所、刑罰とケアの狭間で』

帯：高齢(65歳以上)女性受刑者が激増している!? 罪名の9割は「窃盗」。お金に困っていても盗る。一度ならず何度も刑務所に入る。彼女たちの本音と服役の実態とは一?…(孤立・孤独から来る淋しさと女性の再犯について考えさせられました)

以上、ご参考まで。



更生保護女性会と保護司会との連携

邑智地区更生保護女性会

邑智地区更生保護女性会は、3地区(邑南町川本町、美郷町)39名で活動しています。活動としては次のようなことを行っています。

①保護司会との連携

- ・毎年更女総会時に、その時々合った講師を招いて研修会を行っています。この研修会には保護司会の方々にも参加していただいています。(保護司処遇会議)
- ・保護司会が計画する視察研修に更女も参加させてもらっています。今年は岡山少年院に視察予定です。
- ・愛の募金活動への協力をお願いしています。男性保護司の方にもピンクの封筒を配布しています。

②愛の募金活動

- ・各地区での会員による募金活動
- ・保護司会主催の矯正展、福祉大会、地区行事等での募金箱設置による募金活動と更女の宣伝
- ・愛の募金の中から、邑智郡の全保育所、小学校、中学校に図書券を贈呈して、大変喜ばれています。

③更生保護施設「しらふじ」への生活物資等の寄贈  
会員さんより食品(お米、野菜、保存のきく食品等)や衣類、洗剤などの日用品を提供していただき、毎年しらふじへ送っています。送料は地区活動費で賄います。

活動を行いながら、会員の高齢化や減少が進む中、新しい会員を増やそうと努めているところです。これからも、自分たちでできることを、できるだけ無理なく、保護司会の方々との連携しながら、楽しく活動していきます。



シリーズ 処遇に役立つまめ知識（更生保護関係機関・団体のご紹介） 第4回

更生保護法人しらふじの紹介

更生保護法人しらふじ 施設長 中西 和久

私は、本年7月1日からしらふじの施設長となりました中西と申します。昭和61年に米子市にあった美保少年院で採用され、本年3月末に岡山少年院長を最後に矯正から退きました。

さて、本論の「処遇等に役立つまめ知識」ということで、更生保護法人しらふじの紹介をさせていただきます。しらふじは、松江城下、武家屋敷などが近い閑静な住宅街に所在し、主に刑務所や少年院を仮釈放になった人、警察や検察庁で釈放されたけれども頼るべき身内や縁故者がいない人に宿泊や食事を提供し、「人はいつか必ず変わることができる。」と信じて自立に向けた準備のお手伝いをしています。

その歴史は古く、明治44年に津森百太郎氏が私財投げ売って初代保護主任となって島根授産会を創立されたところから始まります。これまで3回の現地改築を経、現在の建物は平成25年に全面新築されたものです。名称についても平成27年に「島根更生保護会」から「しらふじ」に改名されています。その謂れに関しては、

令和4年に発行され更生保護関係機関に配布された「聞こえますか かつこうの声が」を御一読ください。終身刑に処された息子を思う母の思いを「白藤」と「白南天」に



庭に咲く「白藤」と「白南天」

託されており、「白藤」と「白南天」いまま当施設の庭で季節が来れば美しい花を咲かせています。

利用者の定員は20名で常時15人程度が在籍し、職員は施設長、福祉担当1名、宿直をする補導員3名、事務担当補導員1名、ほぼ毎日3食用意して下さる調理員1名の計7人と少数です。

我々の施設の運営には保護観察所、更生保護関係者、地域の人々、篤志家の御指導が不可欠です。皆様方からの御支援、御協力をよろしくお願いいたします。



昭和8年改築 瓦葺木造二階建



昭和41年改築 鉄筋コンクリート二階建



平成25年改築 鉄筋コンクリート二階建

建物の変遷

ご支援ありがとうございました

Table listing names and titles of supporters from the Shimane Protection Observation Association, including names like Iwano Hironobu and others.

敬弔 下記の方がご逝去されました。ご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。敬称略
保護司 坂本 幸子(邑智)(令和6年6月18日逝去)
保護司 田中 一隆(隠岐)(令和6年7月9日逝去)
元保護司 周藤 昌夫(出雲)(令和6年7月17日逝去)
元保護司 布野 登美(出雲)(令和6年9月3日逝去)
元保護司 島田 道州(浜田)(令和6年9月7日逝去)

保護司の異動

〔退任保護司〕 1名 敬称略
(令和6年8月31日付) 鶴 鶴 善 政 (松江)

「愛の図書贈呈式」のご案内

とき 令和6年12月6日(金)午前10時から開催
ところ 松江保護観察所会議室
(松江市向島町134-10 松江地方合同庁舎6階)

(表紙写真説明) 西田 ヨズクハデ
全国的にも温泉津町の一部でしか見られない稲掛けで、現在西田地区でのみ伝承されている。丸太四本を四角錐に組み稲掛けをした姿を、ヨズク(ふくろう)に見立てたことが語源と言われ、伝説では、水上神社に祭られている二柱の神が、大風の度に稲ハデが倒壊し、悩んでいる里人に、漁網を干す方法を伝えたのがはじまりと言われている。